



議長抱負

改選後初の議長に選出されました、橋本です。

今、高山市議会は、平成23年に制定した議会基本条例を基本として、市民の皆様へのニーズを的確に把握するとともに、時代の流れや状況変化に柔軟に、また、迅速に対応し、分かりやすい議会を目指しております。

現在、高山市は多くの課題が山積いたしております。その中でも、火葬場、ごみ焼却施設、公共施設等総合管理計画、野球場、サッカー場、そして第八次総合計画後期計画の策定、人口減少等があります。これらの課題に対し、今早急に方向性をはっきりしなければならない事案、市民の皆様へのニーズをお聞きしながら対応していかなければならない事案等、議会としての立ち位置を明確にする必要があると考えております。

高山市議会も多くの課題を抱えております。市民の皆様との約束を明文化した議会基本条例制定後8年が経過し、それ故に課題も多くあります。一部を申し上げますと、議員定数の問題、それに伴う報酬の問題、通年議会等の問題です。これらの課題に対して、議長就任後直ちに、議会プロジェクトチームを立ち上げ、議会アドバイザーの法政大学副学長・廣瀬克哉先生、有識者に山梨学院大学・江藤俊昭先生を迎え、課題解決の取り組みのスタートを切らせて頂きました。今後とも、高山市議会にご支援、ご理解を賜りますことをお願いし、ご挨拶とさせていただきます。



副議長抱負

平成から元号が変わった令和元年に、歴史と伝統ある高山市議会の副議長に就任しました。よろしくお願いいたします。

議会基本条例を制定してから8年が経過し、議員の「身分・待遇」、議会活動の評価をする「議会白書の公表」、「政治倫理」についての協議・検証が進んでいるところです。しかし、まだ協議が進んでいない、議員定数・報酬、政務活動費の件など多くの課題が山積しており、廣瀬教授（法政大学）に議会アドバイザーに就任をいただくとともに、江藤教授（山梨学院大学）にも有識者として、課題の取り組みや外部評価について議論して進めていくこととなっています。

昨年末には議会に対して議員定数削減の要望書が多く提出されました。市民の皆さんからのご意見を議会でしっかり協議し、市民から見ても議会がわかりやすく、開かれた議会になるよう努めていかなければならないと考えています。地域別市民意見交換会では、市民とキャッチボールができる体制づくりとして、早急に担当議員が地域に出向いていけるようにするとともに広報広聴委員会の充実や常任委員会との連携にも取り組んでいきたいと考えています。

所信表明



高山市議会では、市民に開かれた議会を目指すため、正副議長に立候補しようとする者は、議会運営における自らの考えを全議員に表明する所信表明会を行っています。

今回は、議長候補に橋本正彦議員、副議長候補に渡辺甚一議員が所信を表明しました。この様子はCATV、インターネットにおいて生中継されました。議会では、正副議長候補者が自らの考えを議員に示すだけでなく、中継等を通じて市民の皆様にも広くお示しすることで、より議会をご理解いただけたと考えています。

